

介護事業者の指名停止の件について

一般質問



長田 謙一 議員
(21政会)

問 介護報酬を不正請求し受領した事案で、不正請求金額は約600万円ですが、返還状況はどうなっているか。

答 行政処分を行った事業者の介護報酬の返還状況については、国との協議を経て処分の根拠理由等から返還金額を約360万円とし、昨年12月から計画的に順次返還を求めておりまして、本年3月で完了する予定でございます。この360万円につきましては、当初約600万円の返還を予定しておりましたが、厚生労働省との協議の中で、返還額を当初の5

割から3割に改めたため、返還金額が360万円になった経緯でございます。

問 監査の体制は、3年に一度から不正発覚後、2年に一度に変更されましたが、加西市独自の監査方法が必要と考え、抜き打ち監査を検討されてはどうか。

答 監査方法につきましては、事前に所定の様式で書類提出を求めるとともに、実地指導を行い保管書類の確認、管理事業者からの聞き取り調査を実施し、終了後口頭で指摘を行い、後日文書で改善状況の報告を求めています。抜き打ち監査につきましては、スタッフの勤務状況、日常業務の実態把握する上で効果的であり、監督機関の市行政と介護事業者との適切な緊張関係を保つ面でも有効と考えられますので、県や他市町の監査状況も参考にしながら検討したいと思います。

問 不正発覚時に利用者が10人ほどおられたことを確認しましたが、その時の利用者の処遇について。

答 当該事業者を利用されておりました10名の方につきましては、行政から市内の各介護事業者を受け入れを要請いたしまして、事業者の協力も得まして、全員がスムーズに小規模多機能型介護施設等に移られるなど、事業停止期間中特に支障なく過ごされておりました。3月の事業再開にあわせて、事業者から以前の利用者に、再開後の運営方針を丁寧に説明し理解を得て、現在5名の方が当該事業所を利用されておられます。

■その他の質問項目

- ・加西インター周辺整備事業について
- ・教育委員会の改革について

社会保障費の削減に向けて

一般質問



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 「1日1万歩市民運動で社会保障費の削減」

市の社会保障関連予算は、総会計予算450億円の約6割に相当するまで膨れ上がっています。高齢化の進展により仕方ないものの、65歳を超えた団塊の世代が年を重ねていくにつれ、ますます医療費と保険給付費の増が見込まれます。削減を図るには制度を支える若者世代に余り負担をかけないように、高齢者層は病気にならない健康な体の維持に努めてまいりましょう。

そこで、『1日1万歩の市民運動』

の展開を提唱いたします。歩くことは元来楽しく、心身を健やかにし、また環境に優しいものです。これからは、高齢者も生きがいを見つけて、1日1万歩歩いて、心身ともに健やかな生活を送り、できるだけ病気にならないように、自己管理に励みましょう。気の合った仲間と一緒に楽しく語り合いながらの1万歩はあっという間に達成できます。朝夕の1時間ずつの犬の散歩でも1万歩は容易であります。私も1日1万歩を目指して歩いています。7キロメートル前後ですが歩くことの効能は実感しています。市民全体で1日1万歩を励行すれば、みんな健康になり、医療費も保険給付費も削減され、国保税等も安くなります。社会保障費の削減こそ、これからの市行政の明暗を分けるものと思います。みんなで健康都市加西を実現させて、膨れ上がる社会保障費を削減し、削減できた

財源を商工振興費や教育費等に回し、魅力ある加西の実現を目指していきましょう。

そこで、日本一の健康都市を目指して「加西市歩こう条例」の制定を希望しますがどうでしょうか。

答 市長施政方針にも掲げておりますとおり、歩くことにより住民が健康で幸せに暮らせる都市モデル、いわゆるスマートウェルネスシティを目指して、ウォーキング教室の実施を初め市民の歩くことへの意識調査等、先進地の取り組みやまちづくり施策としての位置づけを模索して、市の条例化や取り組みを検討してまいります。

■その他の質問項目

- ・市長のけじめについて
- ・5万都市について